

2019年度第2四半期



決算説明資料

アイペット損害保険株式会社（証券コード：7323）

2019年11月1日

1 保険契約の順調な積み上がりにより、トップラインは堅調に伸展

 経常収益 : **+22.0%**

7,089百万円 ▶ 8,646百万円

2 新規契約が好調なため費用は増加しているが、吸収しつつ増益

 調整後経常利益 : **+34.3%**

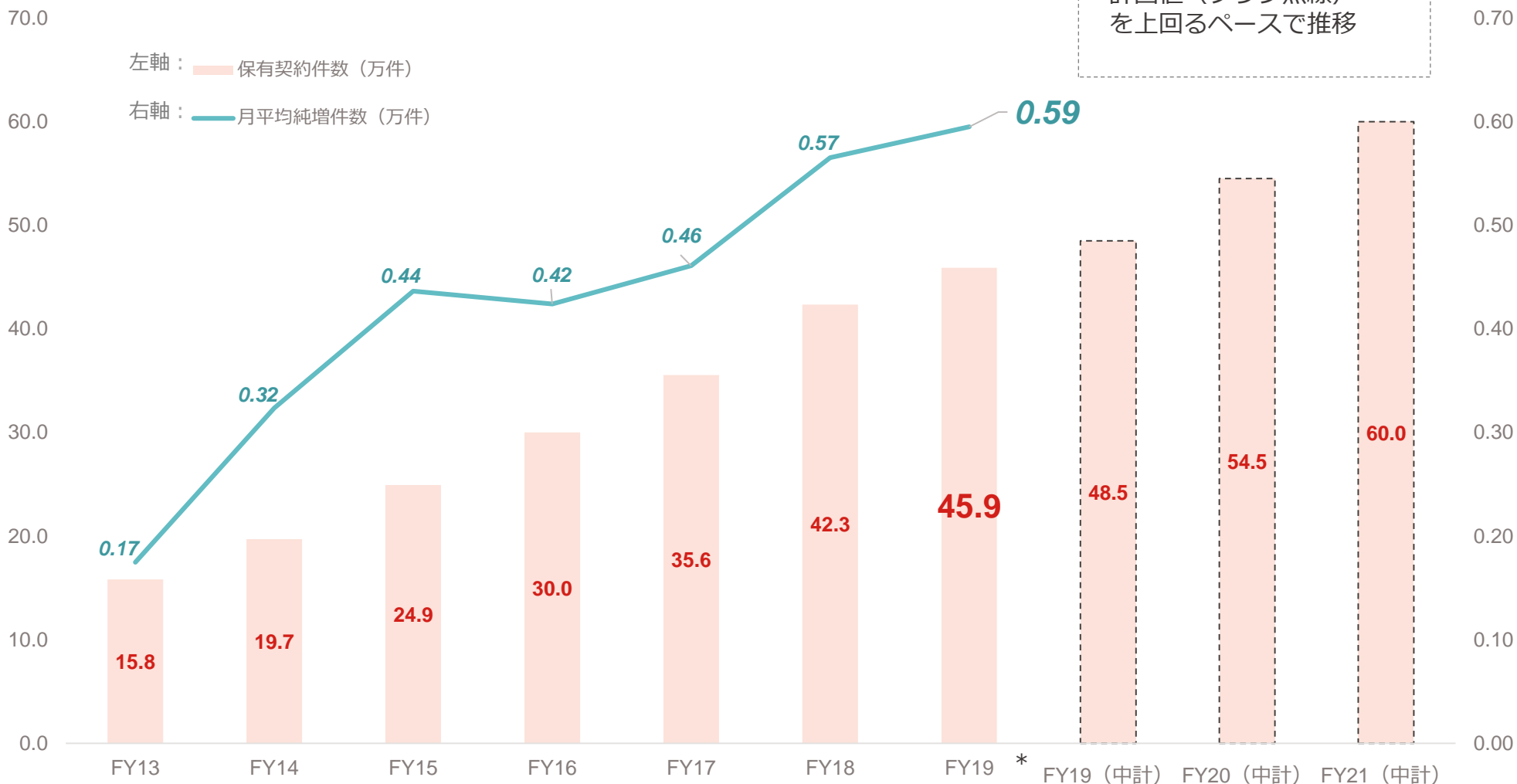
439百万円 ▶ 590百万円

 調整後中間純利益 : **+30.9%**

311百万円 ▶ 407百万円

「増収」 かつ 「増益」

保有契約件数・純増件数（月平均）の推移



保有契約件数は計画に対して **94.6%*** の進捗率

* FY19は4-9月実績

** FY19通期計画値である48.5万件に対する進捗率

1 営業

- 第一生命株式会社の営業員による募集開始 (10月1日より開始)
- 大手ペットショップとの代理店契約締結 (10月18日より開始)

2 効率化

- RPAの導入推進は引続き実施 (年換算2万時間の削減を達成済み)

3 CSR

- 青森県と動物愛護に関する連携協定を締結 (10月23日締結)

決算ハイライト

当社は、日本の会計基準（J-GAAP）の他に、経営管理指標（Non-GAAP）にて経営成績の開示を行っております。

当社は、Non-GAAP指標を重要な指標と考えております。
詳細はAPPENDIXおよび決算短信をご参照ください。



収益指標

※未経過保険料方式 (Non-GAAP)

(単位：百万円)	FY18 2Q	FY19 2Q	前年同期比
経常収益	7,089	8,646	+22.0%
経常利益	213	316	+47.9%
中間純利益	638*	210	△67.0%
調整後経常利益	439	590	+34.3%
調整後中間純利益	311	407	+30.9%

* 一時的な法人税等調整額499百万円を含む

コンバインド・レシオ

正味保険料ベース 87.4% (損害率43.8%、事業費率43.6%)
 既経過保険料ベース 94.0% (損害率48.6%、事業費率45.5%)

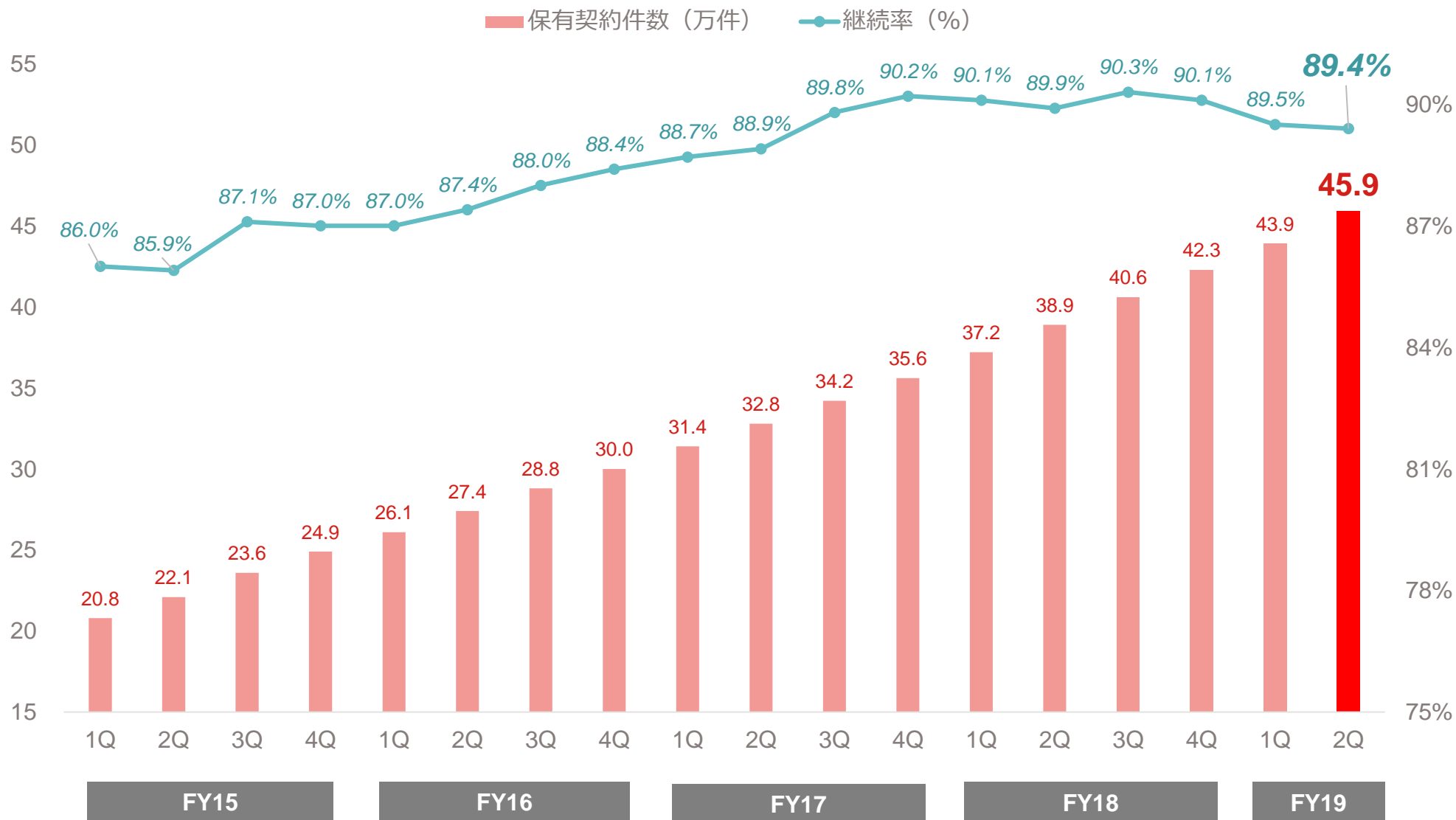
安全性指標

ソルベンシー・マージン比率 366.5% (前年度末比△14.9pt)

業績の推移について

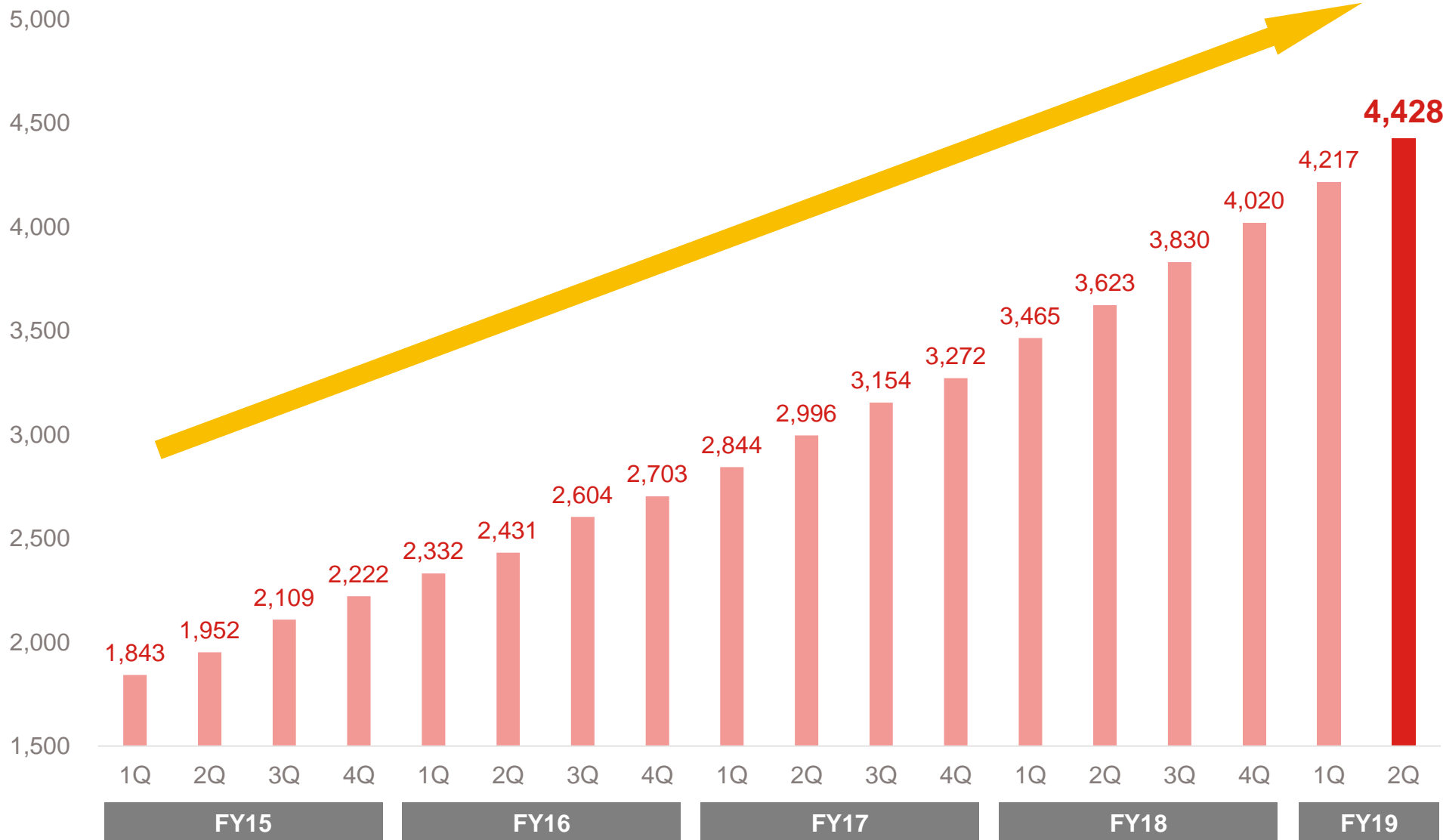


保有契約件数及び継続率の推移



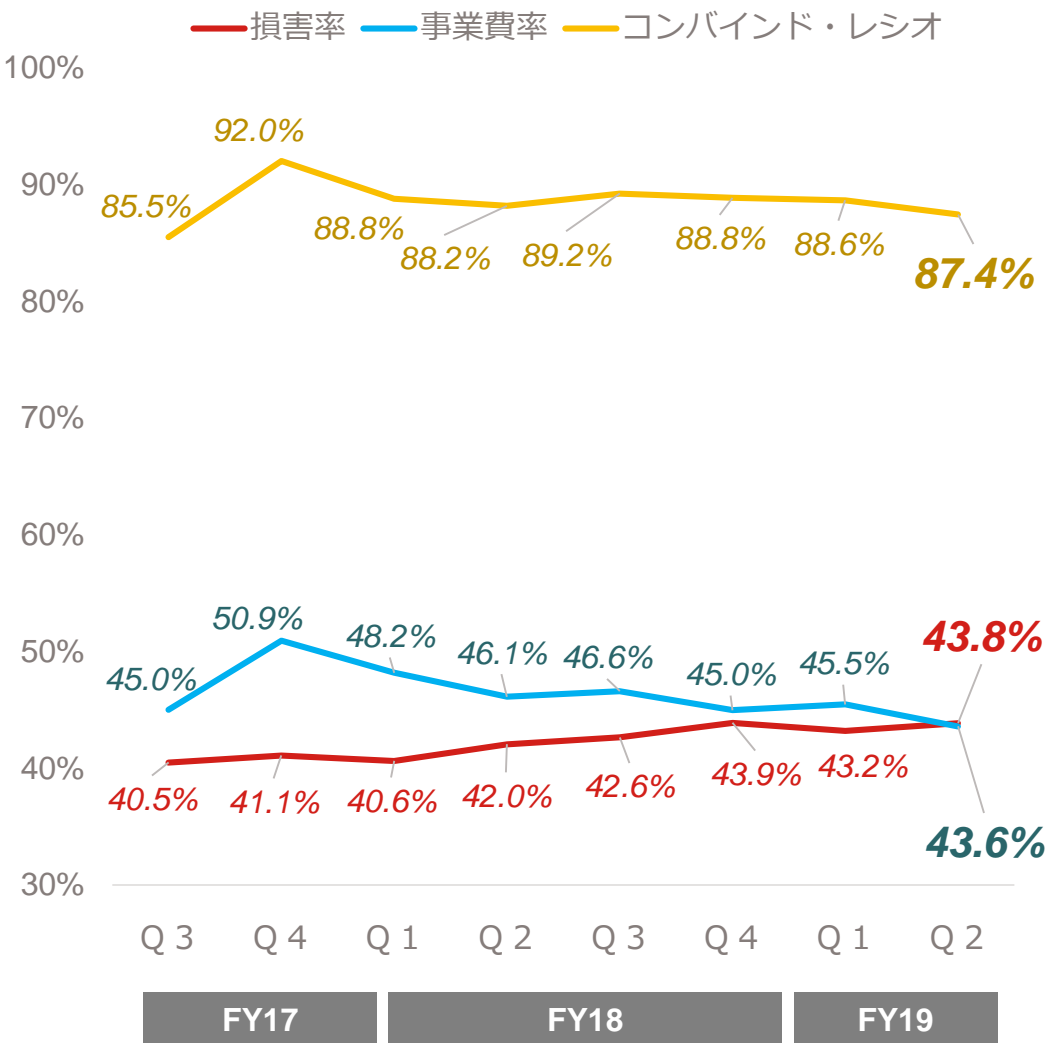
契約数は伸びても、継続率は業界トップクラスを維持

(単位：百万円)

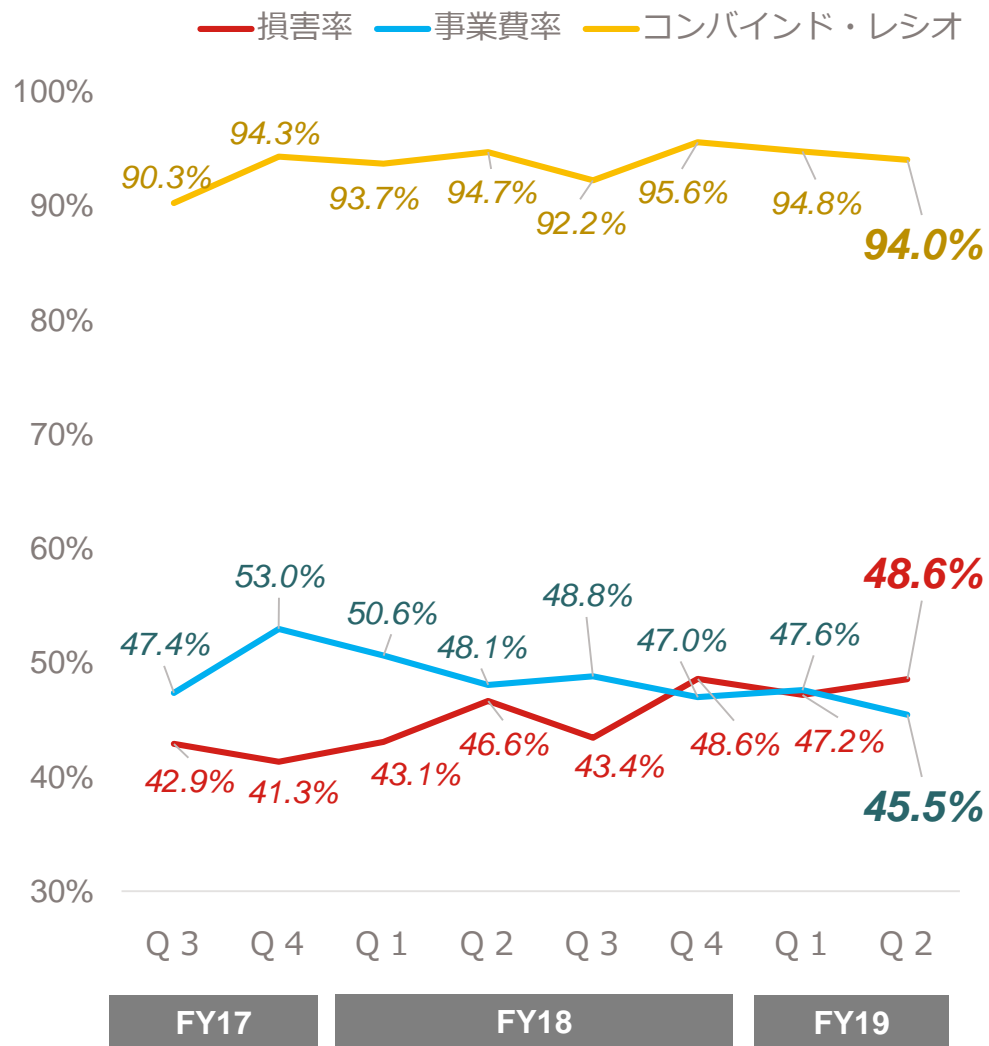


順調に積み上げている

正味ベース



既経過ベース





Non-GAAPベースの業績

(単位 : 百万円)	FY18 2Q	FY19 2Q	前年同期比
経常収益	7,089	8,646	+22.0%
保険引受収益	7,036	8,534	+21.3%
資産運用収益	27	89	+220.0%
その他経常収益	24	22	▲9.0%
経常費用	6,875	8,330	+21.2%
保険引受費用	4,315	5,585	+29.4%
資産運用費用	—	4	—
営業費及び一般管理費	2,558	2,734	+6.9%
その他経常費用	1	5	+190.0%
経常利益	213	316	+47.9%
特別損失	1	3	+133.7%
税引前当期純利益	212	312	+47.3%
法人税等	▲426	102	—
中間純利益	638	210	▲67.0%

主な勘定科目の増減理由

保有契約件数の拡大に伴い順調に増加

利息配当金収入	+33百万円
金銭の信託運用益	+20百万円
有価証券売却益	+7百万円

正味支払保険金	3,424百万円 (前期比 +26.7%)
諸手数料及び集金費	984百万円 (前期比 +30.0%)
責任準備金繰入額	628百万円 (前期比 +16.5%)

前期は税効果会計の区分変更に伴い、異常危険準備金に対する繰延税金資産を計上

J-GAAPベースの業績



(単位：百万円)	FY18 2Q	FY19 2Q	前年同期比
経常収益	7,089	8,646	+22.0%
保険引受収益	7,036	8,534	+21.3%
資産運用収益	27	89	+220.0%
その他経常収益	24	22	▲9.0%
経常費用	6,888	8,405	+22.0%
保険引受費用	4,328	5,661	+30.8%
資産運用費用	—	4	—
営業費及び一般管理費	2,558	2,734	+6.9%
その他経常費用	1	5	+190.0%
経常利益	200	240	+19.7%
特別損失	1	3	+133.7%
税引前当期純利益	199	236	+18.8%
法人税等	▲429	80	-
中間純利益	629	156	▲75.2%

(単位 : 百万円)	FY18	FY19 2Q	前年度末比
資産合計	13,574	14,423	+6.3%
現金及び預貯金	5,035	2,047	▲59.3%
有価証券等	3,686	6,601	+79.1%
繰延税金資産	834	911	+9.1%
その他資産	4,017	4,863	+21.1%
負債合計	8,237	8,875	+7.7%
保険契約準備金	7,019	7,954	+13.3%
うち支払備金	963	1,194	+24.0%
うち責任準備金	6,056	6,760	+11.6%
その他負債	1,217	921	▲24.3%
純資産	5,336	5,547	+3.9%
資本金	4,097	4,110	+0.3%

主な勘定科目の増減理由

余剰資金を資産運用に回している

金銭の信託 1,020百万円
 (+1,020百万円)
 有価証券 5,465百万円
 (+1,898百万円)

ソフトウェア仮勘定 1,680百万円
 (+ 428百万円)
 未収保険料・未収金 1,956百万円
 (+ 162百万円)

初年度収支残 4,262百万円
 (+ 430百万円)
 異常危険準備金 2,497百万円
 (+ 274百万円)

法人税等の納付による減少 ▲174百万円

APPENDIX



(単位：百万円)

		FY18 2Q	FY19 2Q
Non-GAAP	A) 調整後経常利益 (= B + C)	439	590
	B) 経常利益	213	316
	C) 異常危険準備金影響額	225	273

- ・ 当社は、経営者が意思決定する際に使用する社内指標（Non-GAAP：未経過保険料方式）と、日本基準（J-GAAP：初年度収支残方式）に基づく指標の双方で経営成績を開示*
- ・ 当社は、**調整後経常利益**（= 未経過保険料方式の経常利益±異常危険準備金**影響額）を経営実態を適切に表す経営管理用の利益指標として使用
- ・ 異常危険準備金は、異常災害による損害の填補に備えるため、事業年度ごとに収入保険料に3.2%を乗じた金額を責任準備金として負債計上する必要がある（保険業法施行規則第70条1項2号）**
- ・ 今後も業績予想は「**Non-GAAP：未経過保険料方式**」のみで開示

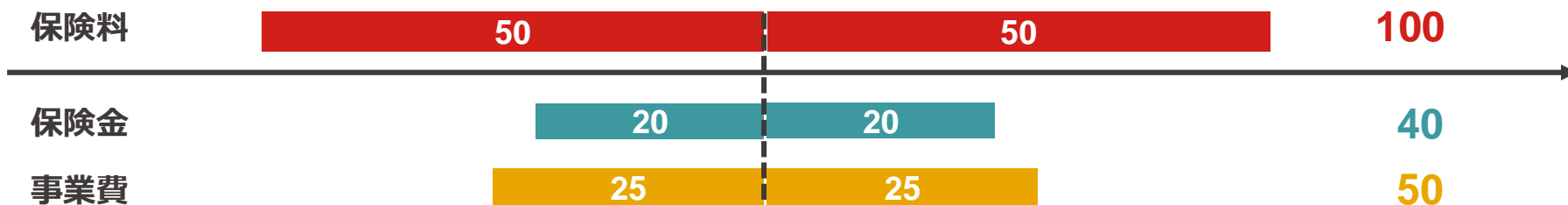
* 上場企業のうち、初年度収支残方式に基づく損害保険会社は当社以外は存在していない
 ** 当社の損害率が大蔵省告示第232号第2条の別表で記載されている基準損害率50%を下回るため

- ・損害保険会社は、普通責任準備金として未経過保険料残高と初年度収支残高の**いずれか大きい方**を負債計上する必要がある（保険業法施行規則第70条1項1号）
- ・当社は、初年度収支残高が未経過保険料残高を上回っているため、**制度会計上初年度収支残方式**によるが、経営管理上は、**発生主義**に即した**未経過保険料方式**を使用

初年度収支残方式と未経過保険料方式

[前提] ● 期中に一時払で100の入金、うち×1年度末での未経過保険料50
● 保険金、事業費はそれぞれ下図の通り

×1年度



初年度収支残方式

	×1年度	×2年度
保険料	100	0
保険金	20	20
事業費	25	25
差引	55	▲45
準備金	55	▲55
利益	0	10

初年度の利益は0

未経過保険料方式

	×1年度	×2年度
保険料	100	0
保険金	20	20
事業費	25	25
差引	55	▲45
準備金	50	▲50
利益	5	5

発生主義による利益

■ 将来見通しに関する注意事項

- ・本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
- ・これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

本資料および当社IRに関するお問合せ先

アイペット損害保険 財務経理部

TEL : 03-5574-8615 E-mail : IR@ipet-ins.com

